

「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修 令和7年度 第2期

「総合監理」コース（上級管理）

【各講義の内容と学習目標】

オンデマンド講義：(1回目)R7年9月16日（火）～ 10月19日（日）

(2回目)R7年10月6日（月）～ 11月9日（日）

対面演習：(1回目)R7年10月8日（水）

(2回目)R7年10月29日（水）

形式	単元№	単元名	単元の概要	講義№	時間	動画 時間	講師	学習目標
オン デ マ ン ド	1	総合防災政策	総合的に防災政策を推進していくことの基本的な考え方を予防対策から応急対策への流れに沿って学ぶ。	1	80分	42分	岩田 孝仁（静岡大学）	<ul style="list-style-type: none"> 防災政策の重要性を説明できる。 予防対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 応急対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 地域の防災力向上の基本的な考え方を説明できる。
						38分		
	2	総合的な被害抑止施策の実施	水害や土砂災害、地震などの被害を抑止するための総合的な対策について学ぶ。	2-1	64分	18分	新潟県（長尾 聡）	<ul style="list-style-type: none"> 水害をどのように防ぐのか総合的な水防対策を説明できる。
						20分		
						26分		
				2-2	72分	25分	全国治水砂防協会（大野 宏之）	<ul style="list-style-type: none"> 土砂災害をどのように防ぐのか砂防事業の方針と地域の課題を説明できる。
						47分		
				2-3	32分	32分	静岡県（坂口 武史）	<ul style="list-style-type: none"> 建築物に対する耐震化と室内安全対策について説明できる。
				2-4	36分	36分	UR都市機構（大野 新五）	<ul style="list-style-type: none"> 都市防災事業の先進事例を説明できる。
	3	リスク評価に基づく災害対応の検証	防災アクションプランの策定手法であるリスク評価→施策目標の設定→事業評価指標の設定→進捗管理→検証→事業見直しといったサイクルについて学ぶ。	3-1	24分	24分	山本 晋吾 （ひょうご震災記念21世紀研究機構）	<ul style="list-style-type: none"> リスク評価と被害想定のか考え方について説明できる。 リスク評価に基づく防災政策への反映について説明できる。
				3-2	34分	34分		
	4	応急対策の実態	災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学ぶ。	4	59分	38分	熊本県（木村 敬）	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部における災害応急活動の実態について説明できる。 広域防災拠点ネットワークと緊急輸送路ネットワークのか考え方について説明できる。 国や都道府県、市区町村、各種関係機関との広域応援のか考え方について説明できる。 自主防災組織や企業など民間との連携について説明できる。
						21分		
	5	大規模災害の検証と対応	大規模災害がどのように検証され、どのような対応方針が示されているのかを学ぶ。	5-1	35分	35分	倉敷市（三好 達也）	<ul style="list-style-type: none"> 近年の災害対応と検証を説明できる。
				5-2	26分	13分	内閣府（柴田 涼太郎）	
						13分	内閣府（信太 博之）	
対 面	6	災害対策本部体制	災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウトなど事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを演習形式で学ぶ。	6	345分		岩田 孝仁（静岡大学） 涌井 正之（新潟県消防設備協会） 片家 康裕（和歌山社会経済研究所） 元谷 豊（サイエンスクラフト）	<ul style="list-style-type: none"> 災害対応におけるプロジェクトマネジメントとしての災害対策本部体制の枠組みを説明できる。 災害対策本部体制を構築するために必要な組織を説明できる。 災害対策本部体制に求められる機能を説明できる。 災害対策本部に必要な空間レイアウトを説明できる。 災害対策本部運営の重要な流れを説明できる。 災害対策本部運営の心構えを説明できる。
	7	全体討論	総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	7				<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。